

職員による自己評価

A環境面

- ・マンション内の一室の為、バリアフリー化は困難です
- ・粗大運動と微細運動とで部屋が分かれているので動から静への切り替えが出来る

B児童への支援内容

- ・子どもの特性に合わせた支援を心掛けています
- ・活動日誌を記載しています
- ・週替わりで活動プログラムを変えています
- ・活動前に確認、活動後に振り返りミーティングを実施しています

C関係機関との連携

- ・送迎時に引き継ぎや様子を確認しています
- ・事業所連絡会にて情報交換を行っています
- ・放課後クラブや学童との交流はありません

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・重要事項説明書にて規定内容を説明しています
- ・毎月お便りを発行しています
- ・送迎時や連絡帳などで保護者と連携をとっています

E非常対応

- ・各マニュアルを職員全員で共有しています
- ・年2回の避難訓練を実施しています

保護者による評価

A環境面

- ・運動スペースが狭いように感じる
- ・設計上だが入口に入る前の門が危ない

B児童への支援内容

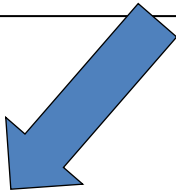
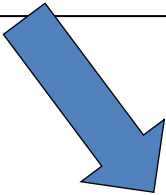
- ・子どもそれぞれの特製について職員全員で認識してほしい
- ・気になっている所の対処や結果などがよく出来ている
- ・公園に行ってルールを学んだり楽しんでいる
- ・協力をお願いした時にとってもよくしてもらっている

C事業所からの情報発信

- ・活動の様子をもっと公開してほしい
- ・送迎時に細かく様子を伝えてくれているし、連絡帳があるのはありがたい

D非常対応

- ・毎回楽しみにしており帰宅時の表情が良い
- ・楽しんで通所していて体育にも意欲的に参加している
- ・友達との関わりあいや一人で過ごしたい時など配慮していただけて有難いです



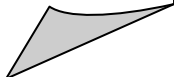
事業所内での分析

【共通点】

- ・保護者と事業所間で連携及び情報交換は出来ている
- ・バリアフリー化が出来ていない
- ・活動中に施設外での交流はない
- ・活動プログラムが毎回工夫されている
- ・通所をとても楽しみにしている

【相違点】

- ・保護者から参観をしたいとの申し出が出た
- ・職員間で特性についての情報共有はしているが、もっと専門知識を学ぶべきとの意見があった



分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・子どもの特性に合わせたプログラムを実施している
- ・保護者に子どもの様子を伝えられている
- ・活動プログラムを固定しないことで、楽しく活動することが出来る
- ・職員が研修に参加し、専門知識を学んでいる
- ・職員間での情報共有が出来ている

### 事業所の改善点

- ・活動中の様子を公開する
- ・施設内外の改善
- ・関係機関とのより深い情報交換
- ・専門知識の向上

### 事業所の改善への取り組み

- ・ホームページやお便りで活動内容を分かりやすくお知らせしていく（活動周知の不足改善）
- ・専門知識の向上

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

頂いた回答に関しては真摯に受け止め、今後の活動に反映していきたいと思っております。また、職員間では共有出来ている部分でも、保護者及び利用者目線では不足と思われる事があるので、その差がなくなるように邁進してまいります。

事業所名 のびの木みつきょう

担当者 松田 聖彦